



# 向陵広場

発行号 第07号  
 発行日 平成 28 年 12 月 15 日(木)  
 発行元 向陵編集校友会  
 責任者 伊藤有司 (県商 10 回卒)

## 初版「帳合之法」福澤諭吉 譯

(慶應義塾出版局)



「帳合之法」が校長室に展示されるようになった経緯  
 県商第 14 代校長 水野昭彦  
 私が本校に「帳合之法」のあることを知ったのは、平成 12 年 4 月豊橋商業高校に着任してしばらくしてからであった。

それは、本校同窓会博物館(第 1 産振棟 1 階奥の教室)のガラスのケースの中に保管されていた。私はそれを見て、本校

の職員、生徒あるいは来校者に気軽に見ていただきたいということと、大変貴重な資料でありセキュリティの面から校長室へ移すことを決めた。以来、機会あるごとに本校がこの貴重な書物を所有していることを公言し数多くの方々に見ていただいている。

また、豊橋市美術博物館の学芸員の方に調べていただいた結果、「木版による印刷であるから、多分百部から二百部の発行であろう。その中で、初版本が四巻全巻揃っていることは珍しいことである。

福澤諭吉研究の貴重な資料である。保存状態も良く、大切にしてください。」とのコメントをいただいた。

(全四巻現代語譯より抜粋)

## 「帳合之法」全四巻現代語譯 水野昭彦



### 《訳者略歴》

2000 年 4 月 愛知県立豊橋商業高等学校に第 14 代校長として着任

2005 年 3 月 同校を定年退職

### 現代語譯にあたって

本書のことは、私が大学一年生の時、簿記を勉強する中で、福澤諭吉が複式簿記をアメリカから日本に初めて紹介した本である

ということを知っていた。しかし、それ以上のことは知る由もなかった。

ところが、私が本校に着任し、その原本が自分の目の前にあり、手にとって見るができることを知って少なからず興奮を覚えた。こうした歴史的に有名な書物は、ややもすると、その題名や著者は知られていてもその内容まで知ることは、意識的に、また、意欲的に接しないとなかなかできないことである。私自身がそうであったように、商業教育、簿記教育に携わる諸兄も本書の存在は知っていても、直接読む機会を得た人は少ないと思われる。

私が意識するという事態まことに僭越であり、また、無謀なことと解っている。私は簿記史の研究者でもなければ、福澤諭吉について深い知識を持っている訳でもない。また、明治時代の言葉を正確に訳すことに自信があるわけでもない。

ただ、簿記教育に長く携わってきた者として、その内容を現代語に訳しておくことも多少の価値があるのではないかという思いで、「意識」としてここに残す次第である。(全四巻現代語譯より抜粋)

「全四巻現代語譯」は学校の図書館にあります。閲覧し、譯者の心を感じとってください。